

2016年11月24日  
株式会社東陽テクニカ

## クリニック向け高画質・超軽量 X線撮影装置デジタル・ラジオグラフィ「Matrixia」取り扱い開始

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、患者の低被曝化、医療従事者の労力・時間の大幅な削減、快適な X 線撮影ワークフローを可能とする、高画質・超軽量な X 線撮影装置デジタル・ラジオグラフィ「Matrixia（マトリクシア）」の販売を 2016 年 11 月 25 日より開始いたします。東陽テクニカは、今回初めて X 線撮影装置の取り扱いを開始し、主にクリニックを対象に販売することで、事業の強化・拡大を図ってまいります。

販売開始に合わせて、2016 年 12 月末までの特別キャンペーンを実施いたします。

X 線撮影は簡単かつ早く画像が提供されるため、最初の診断に用いられる最も使用頻度の高い装置であり、初診を担当するクリニックや小規模病院でも幅広く使用されています。その多くはフィルムや CR 装置<sup>※1</sup>が主流ですが、一般的な CR 装置で撮影した画像の鮮鋭度は低く、専用装置で読み取る必要があることから、X 線照射から診断まで時間がかかります。また、撮影のたびにイメージング・プレートを撮影台と読取装置との間で運搬する必要があり、医療従事者の労力を多大に要します。



デジタル・ラジオグラフィ「Matrixia」

今回、東陽テクニカは初めて X 線撮影装置の取り扱いを開始、デジタル・ラジオグラフィ「Matrixia」を販売します。

「Matrixia」は、一般的な CR 装置の約半分の X 線照射量で、高解像度 9.4 メガピクセル・多階調 16bit という高画質な画像を得ることができ、患者の被曝低減に貢献します。また、業界トップクラスの超軽量 1.95kg<sup>※2</sup>で運搬にかかる医療従事者の労力を削減します。さらに、画像読み取り時間が不要で、加えて、次の撮影が可能となるサイクルタイムが約 8 秒<sup>※3</sup>と短時間であるため、次の撮影までの待機時間が短く済み、患者の待ち時間短縮、作業効率の向上が期待できます。

院内外におけるネットワーク環境構築を容易にする“無線 LAN ルータ機能”を内蔵し、X 線の曝射を自動的に検知する“X 線自動検知機能”も搭載しています。これにより、特別な工事や接続をせずに、現在院内で使用している X 線曝射装置とすぐに使えます。また、独自の TFT 素子補正機能を用いた“自動化されたキャリブレーション機能”により、製品設置・定期点検・修理などの際に従来サービス員が院内で実施しなければならないキャリブ

ーション作業を省略します。これらの最新の医療技術により、導入に必要な費用を抑えつつ、クリニックにおける快適な X 線撮影ワークフローの実現を大きくサポートします。

東陽テクニカは、クリニックにおける X 線撮影に最先端の医療技術を提供し、さらなる画像診断の効率化と医療の質の向上に貢献してまいります。

### 【Matrixia の主な仕様】

- 高解像度、多階調  
高解像度 9.4 メガピクセル、多階調 16bit を実現。
- 超軽量、最短サイクルタイム、省スペース  
17 インチ×17 インチのフルサイズパネルで 1.95kg と業界トップクラスの超軽量、次の撮影が可能となるサイクルタイム 約 8 秒を実現。
- 簡便な操作性  
X 線の曝射を自動的に検知する専用回路を標準搭載。ワイヤレスモデルのフラットパネルには無線 LAN ルータ機能を内蔵。
- 自動化されたキャリブレーション  
独自の TFT 素子補正機能により、製品設置・定期点検・修理などで、従来サービス員が院内で実施しなければならないキャリブレーション作業を省略可能。万が一の故障時にも迅速に復旧可能。

### 【製品データ】

- 販売名：デジタル・ラジオグラフィ「Matrixia」（認証番号：228AGBZX00048000）
- 販売開始：2016 年 11 月 25 日
- キャンペーンについて：  
販売開始を記念して、2016 年 12 月末まで特別キャンペーンを実施します。  
キャンペーン詳細については、専用ホームページ（[www.toyo.co.jp/matrixia/](http://www.toyo.co.jp/matrixia/)）をご参照ください。

### 【用途に応じた PACS<sup>※4</sup> オプション】

東陽テクニカが扱う医療最新技術を使った、胸部 X 線読影ソリューション「ClearRead（クリアリード）シリーズ」や整形外科プランニングツール「OrthoPlanner Pro（オルソプランナー・プロ）」と組み合わせたお得なパッケージも用意しています。

#### 1) 読影支援 PACS（ClearRead オプション）

独自のパターンマッチング画像処理技術により、肋骨・鎖骨などの骨組織を透過することが可能です。これにより、肺全体の陰影に対する視認性を飛躍的に高め、読影の見落とし低減ならびに早期発見に寄与します。また、この技術を応用した精度の高い経時差分処理も可能で、過去比較の際にも威力を発揮します。

## 2) オルソ PACS (OrthoPlanner Pro オプション)

脊椎のアライメント評価、足、肘の角度計測、膝関節の屈曲角、前後ストレス計測など複雑な計測手順が豊富に登録されており、モニタ上で瞬時に計測を行うことが可能です。

- ※1. CR (Computed Radiography) 装置とは、X線の強弱を記録できる IP (イメージング・プレート) に照射された X線を読み取り、X線画像を作成する装置。
- ※2. 2016年11月現在。有線モデル 4343 型式の重量。無線モデルの重量は 2.65kg (バッテリーなし)。
- ※3. 有線接続の場合のサイクルタイム。
- ※4. PACS (Picture Archiving and Communication System) とは画像管理システムのこと。画像撮影装置から受信した画像データを保存、閲覧、管理する。

### <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953 (昭和 28) 年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、530 名を超える全従業員の約 7 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ メディカルシステム営業部

TEL : 03-3245-1351 (直通)

E-mail : [medical@toyo.co.jp](mailto:medical@toyo.co.jp)

「Matrixia」製品ページ：<http://www.toyo.co.jp/medical/products/detail/id=10556>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。